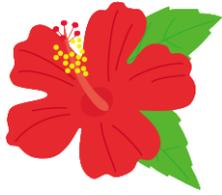




公益社団法人 **地域医療振興協会** 湯沢町保健医療センター



センターだより

“やさしさに 言葉の温度で めくもい添えて”

7 月号



〒949-6101 新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢 2877-1
 TEL (病院) 186-025-780-6543 (歯科) 186-025-780-6544
 URL: <http://www.yuzawamed.jp> Mail: center@yuzawamed.jp



お知らせ

- ★ 7月～9月の期間、常勤医師が交代で夏季休暇の為、休診とさせていただきます場合があります。ご不便おかけいたしますが、ご理解の程宜しくお願い致します。
- ★ 7月1日より地域家庭診療部に平井 傑（ひらいすぐる）医師が着任されます。ご挨拶は、8月号に掲載予定です。
- ★ 当センターでは、24時間救急診療を行う体制をとっています。郡市内の救急当番になっていない日（町の広報で当番となっていない時）でも、救急の患者様には対応しております。センターを救急で受診される時は、まずお電話でご相談ください。受診される際は、現在飲んでいる薬がわかるもの（お薬手帳など）をご持参ください。
- ★ センターのホームページは現在、リニューアル更新作業中の為、しばらくの間、閉鎖しております。ご不便をおかけいたしますがご了承ください。

今月の休診のお知らせ



診療科	日 (時間)	曜	医 師	診療科	日 (時間)	曜	医 師
地域家庭診療部 (予約なし)	11 日	木	竹 内 (常勤医師が担当)	歯 科	3 日 (午後)	水	笠 原
眼 科			窪 田 (代診 加藤)		19 日 (14:00~14:50)	30 日 (14:00~15:30)	
地域家庭診療部 (予約あり・なし)	17 日～23 日	高 橋 (常勤医師が担当)	13 日、27 日		土		

今月の専門外来診察日のお知らせ



診療科	医 師	曜	診察日・その他
禁煙外来	担当医師	火・金 (各午後)	完全予約制になります。 186-025-780-6543 で予約してください
コンタクト外来	窪田医師	木	11 日、25 日 (完全予約制: ☎025-780-6543)
小児科 (アレルギー)	中 島	金	5 日 (午後は予約患者様のみとなります)
口腔外科	担当医師	水	10 日、24 日、31 日 歯科・口腔外科は予約制となります。 ☎025-780-6544 にお電話ください。

風疹ワクチン・MRワクチン（麻疹風疹混合ワクチン）の、不足に関するお知らせ

昨年より風疹が流行しており、風疹ワクチンが全国的に不足しているため、当院では接種希望者には MR ワクチン(麻疹・風疹混合ワクチン)での接種を勧めてまいりましたが、風疹ワクチンに続き MR ワクチンも全国的に不足する事態となり、当院でも入荷困難な状況となりました。8月までは供給の見込みがたたないと製造元の製薬会社より連絡がありました。

よって供給の見込みがたつまではMRワクチンの任意接種(予約)はできないことをご了承ください。

お子様のMRワクチン定期接種に関しては今まで通り行います。

当院での(任意)接種希望者の方にはご迷惑をおかけしますがご理解のほど宜しくお願いします。

【薬剤室 室長 原澤】



研修医師ご挨拶



皆様お久しぶりです。東京北社会保険病院研修医の佐治朝子（さじあさこ）と申します。1月に引き続き2度目の湯沢となります。前回皆様に見守られながら研修させていただいた経験を生かして、少しでもお役にたてるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいいたします。今回は夏祭りなど夏の湯沢を楽しめることも心待ちにしております。

【東京北社会保険病院 医師 佐治 朝子 7月1日～8月31日】



はじめまして、市立奈良病院初期研修医 棧敷真理奈（さじきまりな）と申します。奈良で生まれて中・高は大阪、大学生活は和歌山でした。身体を動かすことが好きで、大学では水泳とテニスに汗を流し、今でも休日となると自転車で走り回っています。この度の研修は一ヶ月と短い期間ですが、湯沢町の魅力にどっぷり浸かせて頂きたいです。至らない点も多くご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、よろしくお願ひ致します。

【市立奈良病院 医師 棧敷 真理奈 7月2日～7月27日】

投書箱より

～～～多くのご意見ありがとうございます～～～

・救急外来で来た際は軽率な対応、話し声も気になりました。手が空いているならば患者に寄り添うなど考えていただきたい。お願ひ致します。 【5月26日 女性 50歳】

・他病院よりスタッフ数(看護師等)が多く見受けられますが、余裕のある為か雑談など暇そうな方も多。こちらは具合悪く来ているので、耳に余る話は如何かと思う。謙虚さが足りない。 【5月25日 男性 48歳】

→ご意見を真摯に受け止め、一同で検討いたしました。今後、医療人としての態度を改めると共に、業務改善に努め、利用者の皆様に喜んでいただけることを目標にしたいと思います。

【外来看護師長 高橋】



・3階で家族が何度かお世話になっています。看護師は多くいらっしゃり、よその病院より忙しそうには感じられませんが、何か尋ねても「わかりません」と言う返答やお願いしたい事が伝わっていない事もあり、信頼のおける方は1~2名くらいでしょうか？家族に声を掛ける(挨拶)、情報(患者の様子)を知らせる事は当然ではないでしょうか？よその病院では担当看護師がおり、その日の事を全て責任を持ってしておりました。曖昧で楽をしたいと言う雰囲気、こちらでは良くて他で勤まらないでしょう。先生方は頑張っておられるのになおさらの事、しっかりとさせていただいて信頼感のある人材を患者の元に置いていただきたいです。

【5月 女性 60歳】

→病棟職員の不適切な対応がありました事は、大変申し訳ありませんでした。今後、このような事がないようにスタッフで話し合い、情報共有についての徹底と利用者の皆様への対応について、改善すべき点を確認致しました。気を付けていきたいと思えます。また、お気づきの点がありましたら、ご意見をお願い致します。

【一般病棟師長 笛田】



・病棟の西陽対策、室温管理をお願いしたい。

【無記名】

→当院の構造上、朝陽が入る部屋と、西陽が入る部屋があります。日頃から、朝陽・西陽に対しブラインドで調節し、冷房の使用も考慮しながら気を付けてはおりますが、ご意見をいただき、さらなる徹底がされるように、早急に対応していきたいと考えております。快適に過ごしていただけるように、工夫していきたいと思えます。

【看護部長 吹田】



・老人の介護をする方々はあまり真剣でないように見えます。入院中は自分でできない事は私達の様子を見て手伝っていただきたい。暇があるのでしたら、見回りや水を飲ませてください。老人ホームの人達を見習ってください。

【代筆 80代】

・介護スタッフ、看護師とも、頼まれた事は責任を持って受けていただきたく思っています。患者に対する工夫をされているのか、家人のお願い、ちょっとした事であるが表情や態度は誠実ではない。介護士と言うのだから患者の要介護度を考え、できる事があるのではないか？見舞いに来た際には偉そうに見える事もあった。頼みづらいと思った。自分でできない事は頼むしかない。面倒な事ではない。配慮、工夫があれば気が付くような事だ。できるだけ、手を掛けたくないが伝わってきた。若い方はそれではよろしくない。顔、返事に表れている。

【5月 女性 57歳】

→この度は、私達の工作中的態度や対応で、不快な思いをお感じになられた事は、大変申し訳ありませんでした。今回ご意見を頂き、自分達の看護・介護を振り返る機会を与えて頂いたと考え、スタッフで話し合いました。今後は、今一度初心に帰り、気を引き締めて業務に当たり、努力してまいります。また、何かお気づきの点がございましたら、是非ご意見をお寄せ下さい。よりよい看護・介護を提供させて頂く事を目標に頑張ります。今後ともよろしくお願い致します。

【療養病棟師長 富沢】



今回、看護部に対し多くのご意見をいただき、ありがとうございました。ご意見を頂き、まず看護師長会を開きました。それぞれの部署または職種に頂いたご意見でしたが、まず皆で共有し考える機会といたしました。回答は所属師長が書かせていただきましたが、職員全員で受け止め「人ごと」のような受け止め方はしないように致しました。今後もお気づきの点がございましたら、ぜひご意見を頂きたいと考えておりますので、よろしくお願いいいたします。

【看護部長 吹田】

院内救急勉強会・防災訓練を行いました

6月18日（水）南魚沼消防湯沢分署の救急隊員を講師にお招きし、救急勉強会を行いました。多くの職員が出席し、心臓マッサージ、AEDの操作、人工呼吸について、ご指導いただきました。今後も、救急患者様の搬送（救急隊）、受入（病院）が密接に連携し、迅速に対応できるよう努力してまいります。

また、6月22日（土）院内防災訓練を行いました。緊急事態の受入れ体制のシュミレーション、消火訓練を行いました。



今月の話題

今年も要注意！急性アルコール中毒



7月に入り、いよいよ暑くなって来ました。こんな時には冷えたビールをクイツと行きたい気分になります。しかし、この時期特に気を付けなければいけないのが、飲みすぎによる急性アルコール中毒です。新聞等でご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、昨年5月、小樽商科大学アメリカンフットボール部の新入生歓迎コンパにて、1年生の新入部員9名が急性アルコール中毒で救急搬送され、内1名が死亡するという事故が発生しました。夢と希望に満ちた大学1年生が、本当にたかだか飲酒事故で命を失うなんて事は、絶対にあってはならない事です。「たかが飲みすぎただけ」「飲みすぎて潰れることは誰だってある」飲酒に対して寛容な方はこのように考えるかもしれません。しかしここで言える事は、急性アルコール中毒は命に関わる病気だという事です。

たかが飲みすぎ、されど飲みすぎ。死んでしまってからではもう遅いのです。数年前には、湯沢町内でも、大学生サークルによる飲酒事故で未成年の大学1年生が命を失うという事故が発生しています。前述した、小樽商科大学とほとんど同様のケースです。

湯沢では毎年夏の季節になると、急性アルコール中毒の発症が急増します。そのほとんどが学生サークル関係者です。そこで昨年度から、各地区観光協会と各旅館民宿の皆さんにご協力いただいて、湯沢に宿泊される学生サークルの方に、急性アルコール中毒防止のポスターとチラシを配布して注意喚起を呼び掛けています。町全体で、急性アルコール中毒防止を呼び掛けて行きたいと思います。ご協力の程よろしくお願ひします。

急性アルコール中毒は発症してからではもうすでに遅いことが多く、未然に防ぐ必要があります。センター便りで以前にも書いた未然に防ぐコツを改めて記載します。

- ① 未成年は飲まないこと：飲酒に慣れていないため急性アルコール中毒を発症しやすく、また若いうちの飲酒は脳細胞や性ホルモンに悪影響を及ぼす可能性があります。そして、当たり前ですが未成年の飲酒は法律で禁じられています。
- ② イッキ飲みしない、させない：イッキ飲みは急性アルコール中毒の第一の原因です。
- ③ 飲みすぎている人がいないか監視する：本人の注意だけではつついコントロールできない事もあります。飲みすぎている人がいないか、周囲の人が注意し、ストップをかける事が重要です。

急性アルコール中毒はちょっとした注意で、必ず未然に防げるものです。飲みすぎにはくれぐれも注意してください。そして、もし周りに飲みすぎている人がいれば、是非声をかけてあげてください。同じ過ちをもう二度と繰り返さないように。



【地域家庭診療部 医師 高橋毅】